

令和5年度 再評価対象事業一覧表（農業農村整備・県事業）

番号	事業名	地区名等	箇所名	基本諸元（全体事業費・受益面積等）			事業採択	経過年数	区分	事業費進捗率（%）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	受益面積 ha	事業内容						
1	基幹農道整備事業	かつうらなんふかみ 勝浦南部上3期	勝浦郡勝浦町	1,223	113	農道工 L=1,100m	H26	10	③	45	農業従事者の高齢化、後継者不足等により地域農業を取り巻く状況は厳しく、輸送体系の合理化による営農労力の節減を図り、農業経営の近代化が急務となっている。 一方では、道路等の社会資本整備が十分でない中山間地域にある本地区では、緊急時のライフラインとして、集落の孤立化防止や緊急輸送路を補完する機能を有する本農道の整備は、一層重要なものとなっている。 地元及び関係市町からは、事業の早期完成を強く要望されている。	継続
2	耕地地すべり防止事業	こやだいら 木屋平	美馬市	421	751.4	排水路工 L=420m 排水ボーリング工 L=10,610m 承水路工 L=110m 集水井工 N=1基 土留工 N=1基	R元	5	②	47	本地区は中山間地における畑作を中心とした営農を行っており、農業従事者の高齢化が進み、厳しい営農状況ではあるものの、H30年に「世界農業遺産（にし阿波の傾斜地農耕システム）」に認定されたことから、農地の保全や持続的農業に関心が高い。 また、近年のゲリラ豪雨等により土砂災害などに対する地域住民の防災意識についても、高まっており、農業生産基盤及び生活環境基盤の維持・保全への要望は強まっている。 地元及び美馬市からは、事業の早期完成を強く要望されている。	継続
3	耕地地すべり防止事業	いのくぼ 井ノ久保	三好市	895	108.0	排水路工 L=250m 排水ボーリング工 L=2,645m アンカー工 N=207本 土留工 1式 吹付法砕工 A=6,050m ² 排土工 V=27,969m ³ 堰堤工・護岸工 1式	R元	5	②	53	計画時点と比較し、基本的に農地面積、営農状況等の変化がないが、近年のゲリラ豪雨等により土砂災害などに対する地域住民の防災意識は高まっており、農業生産基盤及び生活環境基盤の維持・保全への要望は強まっている。 地元及び三好市からは、事業の早期完成を強く要望されている。	継続
4	耕地地すべり防止事業	みよしやましる 三好山城	三好市	562	401.4	排水路工 L=390m 排水ボーリング工 L=18,905m	R元	5	②	35	近年の豪雨等により土砂災害などに対する地域住民の防災意識は高まっており、農業生産基盤及び生活環境基盤の保全への要望は強まっている。 本地区においても、農業従事者の高齢化は進んでおり、営農状況は厳しいものの、山間地における畑作、茶園を中心とした営農を維持している。 地元及び三好市からは、事業の早期完成を強く要望されている。	継続
5	耕地地すべり防止事業	さなごうちがし 佐那河内東3期	名東郡佐那河内村	471	395.7	排水路工 L=300m 排水ボーリング工 L=4,325m アンカー工 N=3箇所	R元	5	②	53	本地区は中山間地における果樹を中心とした営農を行っており、農業従事者の高齢化が進み、厳しい営農状況ではあるものの、すだちの生産量は、県内トップクラスであり、その基盤となる農地の保全について関心が高い。 また、近年のゲリラ豪雨等により土砂災害などに対する地域住民の防災意識についても、一層高まっており、農業生産基盤及び生活環境基盤の維持・保全への要望は強まっている。 地元及び佐那河内村からは、事業の早期完成を強く要望されている。	継続
6	耕地地すべり防止事業	かみやま 神山3期	名西郡神山町	389	28.3	排水路工 L=455m 排水ボーリング工 L=6,885m 承水路工 L=220m 集水井工 N=3基	R元	5	②	45	本地区は中山間地における果樹を中心とした営農を行っており、農業従事者の高齢化が進み、厳しい営農状況ではあるものの、すだち、梅の生産量は、県内有数の産地であり、その基盤となる農地の保全について関心が高い。 また、近年のゲリラ豪雨等により土砂災害などに対する地域住民の防災意識についても、高まっており、農業生産基盤及び生活環境基盤の維持・保全への要望は強まっている。 地元及び神山町からは、事業の早期完成を強く要望されている。	継続

評価対象の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ④事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- ⑤その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑥再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

令和5年度 再評価対象事業一覧表（農業農村整備・県事業）

番号	事業名	地区名等	箇所名	基本諸元（全体事業費・受益面積等）			事業採択	経過年数	区分	事業費進捗率（%）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	受益面積 ha	事業内容						
7	耕地地すべり防止事業	きとうき 木頭2期	那賀郡那賀町	361	182.9	排水路工 L=455m 排水ボーリング工 L=2,560m 承水路工 L=905m アンカー工 N=1箇所 土留工 N=1箇所	H26	10	⑥	69	計画時点と比較し、基本的に農地面積、営農状況等の変化がなく、また、地すべり現象も見られることから、引き続き本事業による地すべり対策が必要である。 地元及び那賀町からは、事業の早期完成を強く要望されている。	継続
8	耕地地すべり防止事業	きさおき 木沢2期	那賀郡那賀町	417	137.6	排水路工 L=330m 排水ボーリング工 L=1,965m 承水路工 L=230m 土留工 N=2箇所 集水井工 N=1箇所	H26	10	⑥	55	計画時点と比較し、基本的に農地面積、営農状況等の変化がなく、また、地すべり現象も見られることから、引き続き本事業による地すべり対策が必要である。 地元及び那賀町からは、事業の早期完成を強く要望されている。	継続
9	老朽ため池等整備事業	だいししいけ 大師池	美馬市	408	12.0	堤体工 1式 洪水吐工 1式 取水施設工 1式	R元	5	②	22	農業用ため池においては、平成30年7月豪雨を契機に防災対策への社会的関心は大きく、さらに、近年、激甚化する豪雨災害への防災意識も高まってきている。本地区の被害想定区域には住宅、農地のほか、徳島自動車道及び県道鳴門池田線り、地域防災の安全度の向上のため補強対策は必要である。また、農業を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化や後継者不足等により厳しいものの、本地区の営農意欲は強く、安定的な農業用水の供給は必要であることから、地元及び美馬市からは、事業の早期完成を強く要望されている。	継続

評価対象の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ④事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- ⑤その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑥再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

令和5年度 再評価対象事業一覧表（森林整備・県事業）

番号	事業名	ふりがな 路線名等	箇所名	基本諸元（全体事業費・利用区域面積・延長等）			事業採択	経過年数	区分	事業費進捗率（%）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	利用区域面積 ha	事業内容						
10	地すべり防止事業	しもみょうかげ 下名影	三好市	450	-	アンカー工 N=199孔 L=408.2m 暗渠ボーリング N=10孔 L=350.0m	R元	5	②	61	本地区は吉野川上流域に位置しており、基幹産業である林業の他、ラフティングやカヌーといった溪流を利用した観光が盛んに行われている。年中通じて有る豊富な水量は、地域の豊かな森林から供給されているものであり、地域住民は地域産業として存在する森林への関心度が高い。 また、近年の線状降水帯等により頻発する土砂災害に対する地域住民の防災意識については、自主防災組織などの意識向上が見られ、生活環境基盤の維持・保全への要望は強まっており、三好市及び地元は、事業の早期完成を強く要望している。	継続
11	林道開設事業	かじやまうちだんせん 梶山内田線	美馬市	5,980	1,461	L=18,556m	H4	32	⑥	64	当林道は、供用開始した区間を利用して、平成4年度から令和4年度までに、延べ868haの森林において植栽や除間伐等の施策が実施されている。今後、供用区間の増加に伴い、森林経営計画の樹立等により高性能林業機械を活用した森林の整備や保全のための施策がさらに進んでいく見込みである。 また、適正な森林整備を行う上で、骨格となる当林道に対する期待と要望は非常に大きいことに加え、5つの林道に接続し、国道や県道にも接続するなど、災害等緊急時の迂回路としても利用できることから、地元美馬市をはじめ森林所有者等からは、早期完成を強く要望されている。	継続
12	林道開設事業	たのうちつえたてせん 田野内杖立線	美馬市	4,946	1,248	L=19,850m	H5	31	⑥	69	当林道は、供用開始した区間を利用して、平成5年度から令和4年度までに、延べ926haの森林において植栽や除間伐等の施策が実施されている。今後、供用区間の増加に伴い、森林経営計画の樹立等により高性能林業機械を活用した森林の整備や保全のための施策がさらに進んでいく見込みである。 また、適正な森林の整備を行う上で、骨格となる当林道に対する期待と要望は非常に大きいことに加え、5つの林道に接続し、国道にも接続するなど、災害等緊急時の迂回路としても利用できることから、地元美馬市をはじめ森林所有者等からは、早期完成を強く要望されている。	継続
13	林道開設事業	かわさきくにのみやません 川崎国見山線	三好市	6,400	2,356	L=20,840m	S61	38	⑥	80	当林道は、吉野川本流とその支流祖谷川に挟まれた地域で森林整備のための根幹となる道路がなく路網整備の遅れている地域である。当林道は、低コストで効率的な森林の施策や管理を進めるために必要な施設であり、国道32号と並行して計画されており国道の緊急用の迂回路としても期待されている。また、利用区域内には祖谷溪と大歩危峡に挟まれている国見山（標高1,409m）が聳えており、その頂からの眺望を楽しむため多くの登山客が当林道を利用し訪れている。三好市をはじめ地域住民等も当林道の早期完成を強く望んでいる。	継続
14	林道開設事業	ひわちやさかせせん 白和茶坂瀬線	三好市	7,600	3,485	L=32,000m	H2	34	⑥	79	当林道は、三好市東祖谷落合の県道三加茂東祖谷山線を起点とし、同市西祖谷山村坂瀬の県道腕山宮石線を終点とする林道である。当利用区域内には、集落（坂瀬、小島、栗枝渡、奥ノ井、落合）が点在し集落間の連絡など地域の振興のため、関係住民から当林道の開設に対する期待は大きい。さらに、祖谷川沿いの国道・県道は、豪雨時に落石のため通行不可能となるケースが多い。このため、池田方面への緊急用の迂回路としての期待も大きい。三好市をはじめ地域住民等も事業の早期完成を強く望んでいる。	継続
15	林道開設事業	いくみやまじせん 生実八重地線	勝浦郡上勝町	5,200	1,324	L=17,700m	S62	37	⑥	79	当林道は、上勝町の中西部に位置する山犬嶽から高丸山に続く稜線を通する森林基幹道で、周辺の県道、町道、林道に連絡することにより、搬出間伐等、地域林産業の振興に寄与している。また、緊急時の避難路及び迂回路の機能も持ち合わせることもからも注目され、町や地元関係者から事業推進に関する要望が強い。また、近年の登山や森林レクリエーションのブームにより、「山犬嶽の水苔群生地」「山犬嶽」に多くの観光客が来ており、現在1時間程度必要な行程が、林道開通より容易にレクリエーションを楽しむことができる。このようなことから、上勝町をはじめ森林所有者や関係者も事業の早期完成を強く望んでいる。	継続

評価対象の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ④事業採択後の準備・計画段階で5年間を経過している事業箇所
- ⑤その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑥再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

令和5年度 再評価対象事業一覧表（森林整備・県事業）

番号	事業名	ふりがな 路線名等	箇所名	基本諸元（全体事業費・利用区域面積・延長等）			事業採択	経過年数	区分	事業費 進捗率 (%)	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	利用区域面積 h a	事業内容						
16	林道開設事業	いわくらせみたにせん 岩倉蟬谷線	那賀郡那賀町	5,600	1,729	L=20,800m	S62	37	⑥	83	当林道は、旧木沢村と旧木頭村の境界周辺の人工林等を適切に整備するため計画された林道である。周辺森林は、路網が未整備であったが、開設済み区間の沿線では搬出間伐や主伐が行われるなど森林整備が進んでおり、開設区間の早期延伸が望まれている。 一方、標高が高いことから施工時期が制限される他、急峻な地形により開設単価が割高になるなど課題はあるものの、コストの縮減等を進め、早期完成を目指している。	継続
17	林道開設事業	ながやすかいかわせん 長安海川線	那賀郡那賀町	4,982	2,106	L=30,404m	S62	37	⑥	66	当林道は、旧上那賀町中央部の森林資源が充実した地域を整備するため計画された林道である。資源利用可能な森林が多くあることなどから、林業事業者による作業路網整備が進められ活発な森林施業への取り組みが行われている。また、開設済み共用区間は、地域の主要道である国道193号線と国道195号線が被災した際には迂回路として活用されるなど地域の交通ネットワークとしての役割も担っており地域の期待も大きい。	継続
18	林道開設事業	よこいしにやません 横石谷山線	那賀郡那賀町	5,200	1,197	L=18,100m	H5	31	⑥	78	当林道は、那賀町(旧相生町、旧上那賀町)にある、スギを中心とする森林資源が充実した人工林地帯にあり、開設済み区間では周辺の既設林道や作業道と接続することで路網ネットワーク化を進めている。未開通区間周辺には未整備森林が多くあり森林所有者からは早期開通が望まれている。	継続
19	林道開設事業	ほしごまこうべまるせん 星越神戸丸線	那賀郡那賀町	4,358	996	L=16,200m	H5	31	⑥	75	当林道は、旧上那賀町と旧木頭村の境界稜線周辺の森林地帯に整備中の林道で、周辺は成熟した森林資源を有する森林が広がる林業地帯となっている。林道周辺では木材の生産が進められている他、伐採跡地では植林が行われるなど、次世代へ繋ぐ取り組みもされている。 また、奥地の林道と路網ネットワークが形成されていることから災害時における迂回路としての機能を担うことから地域住民はもとより林業従事者から早期完成が期待されている。	継続
20	林道開設事業	ぜんぞうせん 禅僧線	海部郡海陽町	3,240	1,052	L=12,000m	H16	20	⑥	30	当林道は、海部郡海陽町神野の国道193号から分岐した林道「荒谷線」と「神野岡本線」の接続部を起点として、海陽町大比の林道「大木屋小石川線」へと連絡する森林基幹道であり、災害時における県道や町道の不通時には、大比、平井集落の迂回路等としての役割を担う。また、当林道との接続する林業専用道「木戸ヶ谷支線」の開設工事が進んでおり、当林道と連絡することにより、施工の効率化及び、森林整備の促進が図られる。当区域は、海部川上流の急峻な地形に広がる広大な森林を有し、禅僧スギとして有名なスギの古木が密集する、森林資源の豊かな区域であり、海部川下流域の集落等への重要な水源区域でもある。	継続

評価対象の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ④事業採択後の準備・計画段階で5年間を経過している事業箇所
- ⑤その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑥再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

令和5年度 再評価対象事業一覧表（県土整備部関係事業・県及び市町村事業）

番号	事業名	事業者	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元 全体事業費 C(百万円)等	事業採 択年度	経過 年数	区分	進捗率(%)		事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
									事業費	用地		
1	緊急地方道路整備事業	徳島県	主要地方道 鳴門公園線 土佐泊浦～三ツ石工区	鳴門市	L=1,600m,W=6.5(11.75)m C=4,800百万円	H16	20	⑥	23	73	当路線は、鳴門公園から国道11号に至る延長約9kmの幹線道路であり、本州四国連絡道路鳴門北ICへのアクセス道路となる路線である。 当該工区は、鳴門公園から国道11号までを連絡する区間のうち、黒山地区から三ツ石地区を整備する事業であり、当該工区での整備により、鳴門公園周辺の観光交流基盤の形成や地域防災力の向上を図る。令和12年度(2030年度)に暫定2車線による供用を目指している。	継続
2	道路改築事業	徳島県	一般国道438号 上八万バイパス	徳島市～ 佐那河内村	L=5,500m W=6.5(10.5)～6.5(15.0)m C=14,500百万円	S63	35	⑥	77	98	当路線は、徳島県徳島市から佐那河内村を經由し、香川県坂出市に至る幹線道路で第2次緊急輸送道路に指定されている。当該区間は朝夕を中心に渋滞が発生し、円滑な通行に支障をきたすとともに、交通事故が多発していることから、当該事業により安全で円滑な交通を確保する。令和15年度(2033年度)の供用を目指している。	継続
3	緊急地方道路整備事業	徳島県	一般国道193号 海川谷工区	那賀町	L=3,300m C=1,900百万円	H11	25	⑥	87	42	当路線は、香川県高松市から徳島県那賀郡那賀町を經由し、海部郡海陽町に至る幹線道路で、「第3次緊急輸送道路」に指定され、木頭すぎの木材搬出ルートとなっているが、現道は急峻な山あい海川谷川沿いに通過し、幅員狭小で見通しが悪い上に、山腹斜面からの落石や崩壊の危険性が高くなっていることから、当該事業により安全で安心な交通を確保する。通行の安全を早期に発現させる防災対策(落石対策や待避所整備)に限定し、令和10年度(2028年度)の完成を目指している。	見直し
4	緊急地方道路整備事業	徳島県	都市計画道路 東吉野町北沖洲線	徳島市	L=2,882m, W=21.0m C=13,200百万円	S56	42	⑥	94	95	当路線は、主要幹線である一般国道11号と徳島市北沖洲を結び、一般国道11号の渋滞対策やマリニピア沖洲へのアクセス道路としての役割を担う放射道路である。当路線の整備により、徳島市中心部の渋滞緩和に大きく寄与するとともに、重要港湾徳島小松島港や四国横断自動車道徳島沖洲ICへのアクセス強化が図れることから、令和10年度(2028年度)の供用を目指している。	継続
5	広域河川改修事業	徳島県	飯尾川	徳島市 石井町 吉野川市	L=24,100m 河道拡幅 C=26,960百万円	S34	64	⑥	91	59	当河川は、吉野川水系の河川であり、平成16年、21年、23年、26年において浸水被害が発生した。全体改修延長24.1kmのうち2箇所の放水路を含む約19kmの整備が概成しているが、残る上流部の河道断面が狭く、早期改修を望む地元からの要望が強い。令和15年度(2033年度)の完成を目指している。	継続
6	広域河川改修事業	徳島県	園瀬川	徳島市	L=7,515m 築堤 C=20,200百万円	S21	77	⑥	93	91	当河川は、吉野川水系の河川であり、平成16年、21年、23年、26年において浸水被害が発生した。全体改修延長7.5kmのうち下流から整備を進め、明善地区と川西地区を残し改修が概成しており、残る無堤区間においては、流下能力が不足しているため、早期改修を望む地元からの要望が強い。令和10年度(2028年度)の完成を目指している。	継続
7	広域河川改修事業	徳島県	多々羅川	徳島市	L=4,560m 河道拡幅 C=8,300百万円	S54	44	⑥	81	46	当河川は、吉野川水系の河川であり、平成16年において浸水被害が発生した。全体改修延長4.6kmのうち下流から約3.1kmが完成しているが、残る上流部の河道断面が狭く、早期改修を望む地元からの要望が強い。令和10年度(2028年度)の完成を目指している。	継続

番号	事業名	事業者	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元 全体事業費 C(百万円)等	事業採 択年度	経過 年数	区分	進捗率(%)		事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
									事業費	用地		
8	広域河川改修事業	徳島県	かつらがわ 勝浦川	徳島市 小松島市	L=10,200m 築堤 C=10,550百万円	S11	87	⑥	46	80	全体計画延長10.2kmのうち、田浦堰下流の築堤については概成しており、流域の浸水被害軽減が図られている。残工事は主に河積を阻害している田浦堰の改築及び、上流約2kmの堤防整備となっており、早期事業完成に向けて、地元からの要望も強い。令和30年度(2048年度)の完成を目指している。	継続
9	総合流域防災事業	徳島県	たつえがわ 立江川	小松島市	L=3,000m 河道拡幅 C=6,000百万円	S63	35	⑥	71	80	当河川は、平成16年,21年,26年において浸水被害が発生した。全体改修延長3.0kmのうち、下流から白鷺橋下流まで約2.1kmが概成しているが、残る上流部の河道断面が狭く、早期改修を望む地元からの要望が強い。令和15年度(2033年度)の完了を目指している。	継続
10	総合流域防災事業	徳島県	ほたるがわ ほたる川	吉野川市	L=3,280m 河道拡幅 C=5,000百万円	S49	49	⑥	87	98	当河川は、吉野川水系の河川であり、平成16年,21年,23年において浸水被害が発生した。全体改修延長約3.3kmのうち、JR橋手前までの約3.0kmが概成しているが、残る上流部の河道断面が狭く、早期改修を望む地元からの要望が強い。令和12年度(2030年度)の完成を目指している。	継続
11	総合流域防災事業	徳島県	かみやがわ 苅屋川	阿南市	L=1,180m 河道拡幅 C=1,750百万円	H2	33	⑥	55	72	当河川は、平成16年,26年において浸水被害が発生した。全体改修延長約1.2kmのうち下流から約0.6kmが完成しているが、残る上流部の河道断面が狭く、早期改修を望む地元からの要望が強い。令和11年度(2029年度)の完成を目指している。	継続
12	海岸侵食対策事業	徳島県	いまづ さかの かやがわ 今津坂野海岸	小松島市 阿南市	L=6,637m 大型突堤工, 養浜工, 緩傾斜護岸工 C=12,332百万円	S36	62	⑥	87	—	当海岸は、県東部の小松島市と阿南市にある南北に伸びた延長約6.6kmの海岸である。漂砂のバランスが崩れ海岸侵食が進み、台風等の暴風時には、波しぶきが飛散してくるなど背後地の生活に脅威を与えていることから、当事業により海浜及び背後地の面的防護を図るものである。令和19年度(2037年度)の完了を目指している。	継続
13	通常砂防事業	徳島県	しおたに ごうだに 汐谷3号谷	阿南市	H=8.5m, L=49.2m H=9.5m, L=38.7m 砂防堰堤 N=2基 C=450百万円	H29	7	⑥	60	100	当箇所は、阿南市橘町汐谷山に位置し、人家113戸、国道、要配慮者利用施設等を保全するため、平成29年度より砂防事業に着手しており、令和9年度(2027年度)の完成を目指している。	継続
14	通常砂防事業	徳島県	まつのきだに 松ノ木谷	那賀町	H=13.0m, L=56.2m 砂防堰堤 N=1基 C=320百万円	H30	6	⑥	53	100	当箇所は、那賀郡那賀町成瀬に位置し、人家1戸、要配慮者利用施設、国道等を保全するため、平成30年度より砂防事業に着手しており、令和8年度(2026年度)の完成を目指している。	継続

番号	事業名	事業者	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元 全体事業費 C(百万円)等	事業採 択年度	経過 年数	区分	進捗率(%)		事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
									事業費	用地		
15	通常砂防事業	徳島県	ひきちだにがわ 引地谷川	東みよし町	H=14.5m, L=53.2m 砂防堰堤 N=1基 C=350百万円	R1	5	②	49	100	当箇所は、三好郡東みよし町西庄に位置し、人家13戸、集会所等を保全するため、令和元年度より砂防事業に着手しており、令和9年度(2027年度)の完成を目指している。	継続
16	地すべり対策事業	徳島県	あるせ 有瀬	三好市	横ボーリング工, 水路工, アンカー工, 集水井 C=3,914百万円	S46	53	⑥	79	100	本地区は、三好市西祖谷山村に位置する地すべり防止区域で、保全対象には人家や市道に加えて、JR土讃線や避難所である旧有瀬小学校などがある。有瀬地区の斜面では、市道擁壁や路面にクラックなどの変状が多数発見され、地すべり活動が活発である。このため、本事業により地域集落の安全を確保するとともに、重要交通網であるJR土讃線を保全するため昭和46年度より事業着手しており、令和10年度(2028年度)の完成を目指している。	継続
17	地すべり対策事業	徳島県	なかお 中尾	三好市	横ボーリング工, 水路工, アンカー工, 集水井 C=510百万円	R1	5	②	41	100	本地区は、三好市西祖谷山村に位置する地すべり防止区域で、保全対象には人家6戸及び緊急輸送路である県道山城東祖谷山線、市道等を含む区域である。平成30年7月豪雨により道路擁壁や家屋施設の変状が多数発生し、地すべりの危険性が高まっていたため、令和元年度より事業着手しており、令和10年度(2028年度)の完成を目指している。	継続
18	急傾斜地崩壊対策事業	徳島県	にしやま 西山(2)	つるぎ町	擁壁工 L=246.8m C=230百万円	H26	10	③	72	100	当箇所は、美馬郡つるぎ町貞光に位置し、人家15戸及び要配慮者利用施設等を保全するため、急傾斜施設による整備を平成26年度より事業着手しており、令和10年度(2028年度)の完成を目指している。	継続

評価対象事項の①～⑦の区分

- ① 事業採択後5(3)年目で未着工の事業箇所
 - ② 事業採択後5年目で継続中の事業箇所(補助事業, 砂防事業)
 - ③ 事業採択後10年目で継続中の事業箇所(交付金事業等)
 - ④ 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- ※①, ⑥の()は砂防事業の場合

- ⑤ その他, 社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所
- ⑥ 再評価後5(3)年間を経過した事業
- ⑦ 事後評価対象